

会計報告

●2004年度の財政状況●

2004年度の決算については、右記の財務3表(①資金収支計算書 ②消費収支計算書 ③貸借対照表)のとおりであり、5月23日の理事会並びに評議員会で承認されましたことを報告いたします。

2000年度からの学生生徒園児数推移を見ますと入学生数の減少傾向が著しく、それに伴い学生生徒納付金が減少し、財政は依然として厳しい状況にあります。

その対応策として人件費を抑制し2004年度の人件費は前年比91.2%になっています。

教育研究経費は前年比98.6%と若干減少しましたが、そのうち奨学費は15.7%、消耗品費は32.6%増加しました。光熱水費は5.4%、印刷製本費は42.3%の節減をしました。

管理経費については前年比440百万円増加しました。その要因は、①募集活動を強化し広報費を70.2%と大幅に増加させたこと、②過年度に山科グラウンドを売却した土地代の調整金として400百万円を支出したことにあります。しかし諸経費では光熱水費を8.7%減、消耗品費を29.6%減と引き続き節減しました。

これらにより、2004年度の消費収支は150百万円の支出超過となりましたが、過年度の特異要因による支出を除くと250百万円の収入超過(黒字)となり、前年度消費収入超過221百万円に続き、本年度も実質は消費収入超過(黒字)となりました。

●2005年度の見通し●

— キャンパス統合、学生募集の強化 —

2005年4月、びわ湖守山キャンパスを高槻キャンパスに統合いたしました。これにより効率経営を推進し、諸経費の節減、消費収支の黒字化を図り、財政の一層の改善に努めてまいります。

また学生募集を学院の最重要課題と位置づけし、オープンキャンパス、学校・塾訪問、入試広報誌の発行など多様な媒体を通じた多彩な募集広報活動を展開してまいります。

教学面では、来春から国際コミュニケーション学科を国際観光コミュニケーション学科へと名称変更、カリキュラム等の学びの内容をより充実させ、国際交流・観光交流に貢献できる人材を育成いたします。また就職支援・起業家支援のための取り組みを一層強化し、安定した高い就職率を維持していく所存であります。

●学院財政にご支援を●

学院財政は、教育、研究などの資金ニーズに応え、支援する役割を担っております。さらに将来に向けて教育環境をより充実させ、学院の発展・飛躍を支える役割も果たしていかなければなりません。

このような重要な役割を担っている学院財政の状況について、学院関係者の皆様に広く知っていただき、キリスト教精神に基づく教育により、社会に役立つ自立した女性を世に送り出していくために、ご理解とより一層のご支援をお願い申し上げます。

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	1,897,903	人件費支出	1,303,546
手数料収入	27,250	教育研究経費支出	369,611
寄付金収入	49,098	管理経費支出	678,289
補助金収入	560,484	借入金等利息支出	56,880
資産運用収入	6,233	借入金等返済支出	463,486
資産売却収入	33,000	施設関係支出	29,179
事業収入	12,490	設備関係支出	32,253
雑収入	73,807	資産運用支出	2,012
借入金等収入	500,000	その他の支出	634,114
前受金収入	304,784	資金支出調整勘定	△ 71,140
その他の収入	566,457	次年度繰越支払資金	826,093
資金収入調整勘定	△ 415,913		
前年度繰越支払資金	708,730		
収入の部合計	4,324,323	支出の部合計	4,324,323

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	1,897,903	人件費	1,241,260
手数料	27,250	教育研究経費	629,851
寄付金	57,785	管理経費	716,446
補助金	560,484	借入金等利息	56,880
資産運用収入	6,233	資産処分差額	1,917
資産売却差額	7,700	徴収不能引当金繰入額	894
事業収入	12,490	徴収不能額	1,603
雑収入	73,807		
帰属収入合計	2,643,652	消費支出の部合計	2,648,851
基本金組入額合計	△ 145,400		
消費収入の部合計	2,498,252	当年度消費支出超過額	△ 150,599

(消費支出超過額=消費収入合計-消費支出合計)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	10,447,794	固定負債	2,543,491
(1)有形固定資産	10,318,246	流動負債	826,153
(2)その他の固定資産	129,548	基本金	14,146,311
流動資産	878,890	消費収支差額	△ 6,189,271
合計	11,326,684	合計	11,326,684

SALON 読者からのおたより

大好きな母校、かけがえのない3年間をありがとう！

1997年に平安女学院高等学校へ入学し、3年間神戸の自宅から2時間かけて通っていました。長時間の通学は本当にたいへんなものでしたが、それが全然苦にならなかったのは、良い友達や素晴らしい先生に出会えたおかげです。クラブ活動にも積極的に参加しました。吹奏楽部に入り、3年間クラリネットを担当しました。私の進学コースはアグネスコースでしたが、クラブに所属していると他のコースの友達や、かわいい中学生の後輩もできました。学生生活で一番楽しかった時代、それが平安女学院での3年間でした。今年4月3日、平女での演奏会とその後都ホテルで催された食事会に参加し、多くの友達や先輩、後輩、そしてクラブ顧問の斎藤先生と卒業以来の感激の対面を果

たしました。これからの私の目標は、平女のチャペルで結婚式をあげることに。もし女の子が生まれたら、たとえ神戸からでも平女へ通学させたいでしょう。

2000年高等学校卒業 福田理佳さん

アグネス基金に寄付をして、卒業生の実感が生まれました

「Agnes」52号を送っていたのですが、届きませんでした。広報誌を通して、平女もどんどん変わっているのだなあと感じています。自分が卒業して30年以上もたったなんて夢のようです。月日がたつのは早いものですね。今回、アグネス基金に少しばかりの寄付をさせていただきます。名前を載せていただき、「あー、私も平女の卒業生なんだ」という実感が生まれ、なんだか安心してました。今後の平女のご発展を心からお祈りします！

1973年短期大学家政科卒業 及部泰代さん

幼稚園 手をつないで遠足へ

2005年度は4月8日に始業式、9日に入園式を迎え、3歳児24名・4歳児30名・5歳児26名でスタートしました。4月には母親と離れての園生活に慣れず泣いていた子ども達も今はすっかり慣れ、元気な笑いを響かせてくれています。

5月の末には、四条畷にある“むろいけ園地”というところに、観光バスを使って遠足に出かけました。バスを降りて遊具のあるところまでの道は、5歳児が3歳児の手をつないで歩きます。3歳児だけだとなかなか目的地に着かないところを、上手に5歳児が導いてくれました。4歳児は友達同士手をつなぎ、楽しく目的地に到着です。お弁当を食べた後は、散策したり遊具で遊んだり元気いっぱいの日でした。3・4歳児をやさしくリードしてくれる5歳児に、成長を感じる春の遠足です。



前列中央が北尾さん。

平安女学院 職員 北尾佳奈子さんが

News

世界水泳で銀メダル獲得！

山岡学長と長野校長の対談では、おふたりの厳しさだけでなく、温かさがひしひしと伝わってきました。実際に中高での授業取材や、大学の元氣あふれる学生たちの様子を見て、「改革は生徒と学生のため」ということが実感できます。今号からは同窓会のページを別刷りにしました。多くの卒業生の皆様により一層、母校に誇りをもてるよう活発化する同窓会の活動もきめ細かくお伝えしていきます。ぜひ感想やご意見を寄せてください。

★プレゼント★
SALONへのご投稿にプレゼント希望と書き添えて、応募ください。プレゼントの締め切りは2005年10月末日です。

アグネス ネイルケアセット (5名様)

※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

★投稿をお待ちしています★
おたよりは、近況報告、学院や先生の思い出、取材の情報など何でも！卒業生、在学生、ご家族、どしどしご投稿ください。
(投稿先 〒602-8013 京都市上京区下立 赤通鳥丸西入 平安女学院法人本部「Agnes」編集部 e-mail:spomuka@heian.ac.jp (投稿方法)ハガキに住所、氏名(旧姓も)・電話番号に加え、卒業生は卒業学科と卒業年、在学生は所属学科と学年を明記してください。)

Agnes [アグネス] Vol.53 SEPTEMBER 2005
●発行/学校法人 平安女学院
●編集/平安女学院法人本部事務局 [Agnes] 編集部
法人・中学・高校
京都市上京区下立赤通鳥丸西入
Tel. 075 (414) 8155 (法人庶務課)
075 (414) 8111 (中学高校事務課)
大学・幼稚園
高槻市南平台5丁目81番1号
Tel. 072 (693) 2311 (総務課)
ホームページ http://www.heian.ac.jp